

# 議会だより

## 第31号

平成25年11月5日発行

# 佐用

発行／佐用町議会

編集／議会広報特別委員会

〒679-5380

兵庫県佐用郡佐用町佐用2611-1

TEL. 0790-82-0668

FAX. 0790-82-0685



大空に夢を託して風船を放つ子どもたち（江川小学校運動会）



も  
く  
じ

第56回定例議会報告	2～3
道州制導入に反対する意見書	3
平成24年度決算認定	4～8
一般質問／9人が町政をたず	9～13
委員会・組合議会報告	14～17
議会予定・センター長登場	18

# 議員発議「道州制導入に反対する意見書」などを決定

第56回定例議会は、9月10日から10月7日までの28日間の会期で開かれました。この定例議会では、平成24年度歳入歳出決算認定15件や平成25年度補正予算15件、議員発議「道州制導入に反対する意見書」など2件、町子ども・子育て会議条例の制定など10件の条例改正を審議し、提案をすべて可決しました。

なお、条例改正1件、請願1件、平成24年度決算認定15件は、各委員会に付託して審議しました。（常任委員会は15P、決算特別委員会は4〜8Pに詳細）

## 原案可決議案

□町税条例の一部を改正する条例

税滞納に係る延滞金の算出基準の変更等地方税法の改正に伴う改正。

□町子ども・子育て会議条例の制定

子ども・子育て支援法に規定されている事務を処理し調査審議するため、町に「子ども・子育て会議条例」を制定。

□訴えの提起

町道における通行妨害案件に関して、佐用町が妨害物の撤去及び損害賠償金を請求する訴えを、「妨害排除等請求事件」

として神戸地方裁判所龍野支部に提起するものです。

## 平成25年度補正予算15件

平成25年度補正予算15件は、全て全員一致で可決しました。

一般会計における大きな減額理由は、庁舎建設関係予算9億円を平成26年度に変更したもののや、森林資源活用計画調査委託業務の追加などがあります。

また、全会計を通じて、

条例改正に伴う職員給与の減額があります。

一般会計(2)は、9月災害の復旧工事が新たに計上されたものです。

## 平成25年度補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額
一般会計(1)	△737,664
一般会計(2)	66,500
国民健康保険	4,499
後期高齢者医療	△196
介護保険	6,376
朝霧園	△1,834
簡易水道事業	42,950
特定環境保全公共下水道事業	△1,554
生活排水処理事業	△462
西はりま天文台公園	1,150
笹ヶ丘荘	880
歯科保健	△339
宅地造成事業	119
農業共済事業	3,590
水道事業会計	868

子ども・子育て会議条例を制定



▲幕山保育園運動会風景（10月5日）

# 平成24年度歳入歳出決算や 平成25年度補正予算

## 報告

□健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政健全化に関する法律の規定により、平成24年度決算に基づき健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見が添

えられて報告されました。  
□教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成25年度教育委員会評価報告書が提出されました。報告書では、平成24年度における教育委員会の活動状況及びそ

## 発議

□町議会は、地方分権の推進に逆行する道州制の導入に反対するため、意見書を採択しました。

の内容に関する点検・評価の結果が示されています。

## 請願

□町住宅リフォーム工事助成制度の創設を求めめる請願は継続審査となりました。

□森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保の意見書を採択しました。

## 訂正と掲載

8月発行の議会だよりにおいて、議員定数条例改正に関する討論が一部漏れていました。原文で掲載させていただきます。  
賛成討論  
岡本義次 議員

## 同意

□町公平委員会委員の選任について同意しました。

町公平委員  
前川福美氏（小赤松）

## 選挙

□町選挙管理委員の選挙を行いました。

選挙管理委員に選任  
岸本紀夫氏（平福）  
小林隆俊氏（早瀬）  
安東美次氏（漆野）  
清水好一氏（末廣）

### 道州制導入に反対する意見書（要約）

我々町村議会は、「真の分権型社会の実現を図るため、住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、政府に対し申し入れてきたところである。7月には、「分権型社会の実現を図るため、道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し要請してきたところである。しかし、政府・国会議員や財界主導により、道州制導入に向けた議論が進められ、一部においては、「道州制への移行のための改革基本法案」を国会へ提出し、与党においても、道州制導入を目指す法案を提出する動きが依然としてみられる。

これらの法案では、町村は事実上の合併を余儀なくされ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。国と地方の役割分担の見直しにあたっては、権限・事務・税財源の移譲等を具体的に示し、国民に対して丁寧な説明をし、地方の意見を十分に踏まえたうえで進めるべきである。

よって、我々佐用町議会は、地方分権の推進に逆行するような道州制の導入に反対するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月7日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

佐用町議会 議長 西岡 正

合併時二万四千人近い人口が今、一万九千台と減り、若者も仕事がない、給料も安い、アフリカ迄出稼ぎに行き、銃で十人から殺される厳しい今。合併特例交付税も減り、税収も少ない、我町も困ってくる。役場も行政改革をし、その事を一番よくわかっている我々議員も減らしていく。それは何故か時代がそうさせるのであり、時代についていけない議員は取り残されるだろう。十四人になり、よかった。



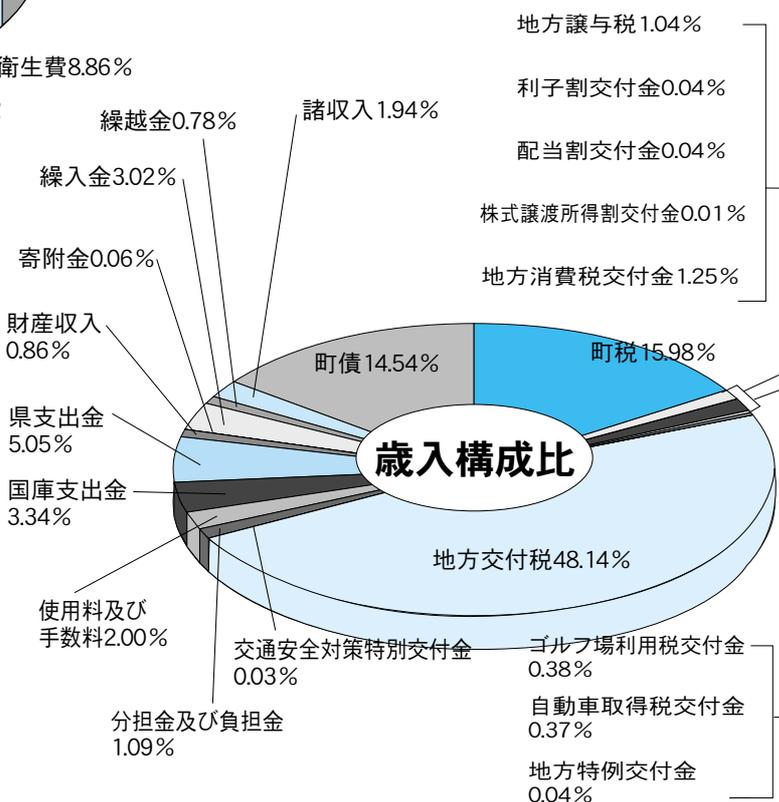
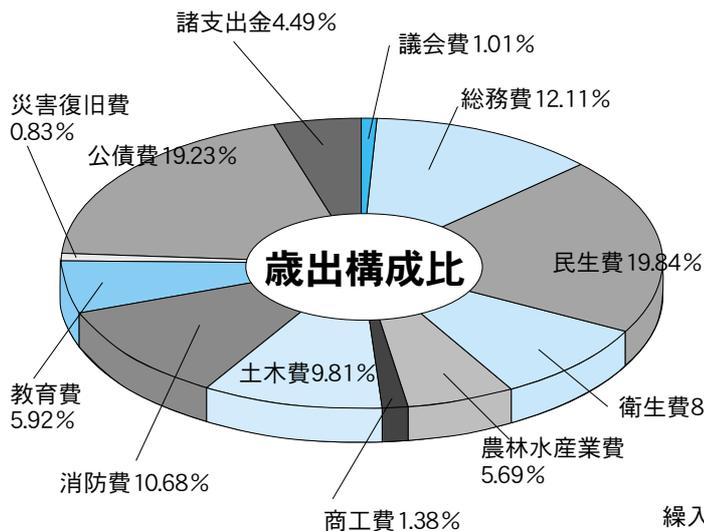
# 平成24年度決算を認定

一般会計歳入 139億3,805万1,258円  
 歳出 138億5,081万9,458円

## 決算特別委員会報告

9月11・12日の両日、全議員で構成する決算特別委員会を開催し、平成24年度一般会計と13特別会計、水道事業会計決算を審議しました。決算審議での主な質疑と本会義での討論などを報告します。

委員長 山本 幹雄  
 副委員長 井上 洋文



## 平成24年度会計別決算額（歳出）

会計名	金額
一般会計	138億5,081万円
国民健康保険	21億8,860万円
後期高齢者医療	2億7,620万円
介護保険	21億1,025万円
朝霧園	1億2,607万円
簡易水道事業	7億9,927万円
特定環境保全公共下水道事業	8億4,882万円
生活排水処理事業	5億0,298万円
西はりま天文台公園	1億4,213万円
笹ヶ丘荘	1億1,012万円
歯科保健	2,390万円
宅地造成事業	29万円
石井財産区	6,000円
農業共済事業	4,381万円
水道事業会計	1億8,237万円



▲ 9月定例議会

## 主な質疑と討論

### 財産に関する調査

**問** 町有土地の増減理由は。

**答** 河川改修に伴う移転による減と、建物では早瀬の第2集会所及び平福の瓜生原邸の増、三日月のぶどうセンターの譲り受け等。

**問** 住民から寄贈された絵画や埋蔵文化財の管理はどのように行っているのか。

**答** 寄贈されたものは評価していない。寄贈分の財産台帳は今後の課題として検討する。埋蔵文化財は登録目録を整備し、

管理している。

**問** 財政調整基金の金銭信託3億円の時価評価額は。また、為替相場で変動するこの基金は早急に手を引くべきでは。

**答** 7月末の時価評価額は2億7920万円余り、既に受け取った利息が1145万円あるので、トータル2億9000万円ぐらいになる。

時価評価額とは、その時々々の為替相場による計算上の額で、中途解約しない限り元本割れにならない。基金全体として大きなウエイトではなく、財政運営上の支障はないのでこのまま継続するほうが良いと考えている。

### 24年度の主な事業

太陽光発電事業組合出資金	1億5,000万円
土地購入費	1億2,168万円
予防接種委託料	4,136万円
資源回収ステーション設置補助金	2,488万円
地籍調査業務委託料	1億1,300万円
道路新設改良費(工事請負費)	2億0,584万円
防災行政無線デジタル化事業	8億6,393万円

## 一般会計歳入

### 町税

**問** 町民税の滞納について、総数と大口の額は。

**答** 滞納分は2209万996円の調定に対して

収納率は29・1%。大口は300万円位の会社が1社ある。

**問** 町民税の所得割が昨年より3700万円増額しているが。

**答** 年少扶養控除、特定扶養控除上乘せ分の廃止、21年災害の雑損控除が3



▲瓜生原邸(平福)

年目を迎え減っている。

**問** 不納欠損について、内容証明書で督促を行っているのか。もし、親が不都合であるならその子へ連絡をしているのか。

**答** 行方不明者や生活保護、差し押さえる財産がない場合、会社が倒産している場合などそれぞれの事情を判断し、執行停止を行い、3年経過後に不納欠損として処理している。何の手立てもせず、時効完成による欠損ということは絶対にならないよう

にしている。

### 分担金及び負担金

**問** 園児数が11人減っているにもかかわらず、保育料が昨年より増えているのは22、23年の徴収漏れの影響か。

**答** 保育料は、保護者の所得状況で変わる。徴収漏れが影響しているのも確か。

### 県支出金

**問** 子宮頸がんワクチンの副作用について。

**答** 122人の接種者があり、副作用については個別に通知した。

### 町債

**問** 地方債現在高が166億8000万円あるが、交付税算入率はどうなっているか。

**答** 一般会計の交付税算入率は現在74・3%である。

## 一般会計歳出

### 総務費

**問** 記念品及び報償品は、町内業者で調達したか。

**答** 内容は成人式の記念品で、町内業者から購入した。町内で賄えるものは町内で、できないものは町外業者から購入している。

**問** 備品購入費で電算システムの更新とパソコン購入減は。

**答** サポート期間終了によりOSのみを入れ替えた。パソコンの減は、職員数の減及び消防広域化による台数減である。

**問** 自主放送ハイビジョン化事業委託料について、未加入者と差がつく。未加入者の対応はどうするか。

**答** 加入していただくよう推進していく。

**問** 防犯灯のLED化は、自治会の承諾のもと街路灯との区分けが終わったのか。



▲LEDの防犯灯



▲農地と山との間の緩衝地帯

**答** 各集落へ行き説明を行った。追加要望は、基準に該当すれば増設している。

**問** 町税過誤納還付金が対前年600万円の増になっていて理由と、還付加算金はいくらか。

**答** 21年災害の雑損控除を計算する際、国・県の見舞金・支援金を差し引いた額を控除するとなっていたが、法改正で収入としないこととなり、左用町も適用された。22年・23年度分も計算し30件を還付した。また、別荘の固定資産税に住宅軽減税を掛けたことで287万円を還付した。還付加算金は51件、53万9500円を還付した。

**農林水産費**

**問** 土づくりセンター指定管理委託料を払っているが、運営費（機械購入）まで補助するのはいかがなものか。

**答** 補助金は、町保有トラックが耐用年数を迎えたため。保険、車の管理も含めJAで行う。

**問** 牛糞の販売収入及び散布収入を含めて収支の分かるものを提出してほしい。

**答** 提出する。

**問** 新規就農総合支援事業の募集はどのようになっているか。

**答** 特に募集はしていない。

**問** 住民参加型森林整備事業補助金で、山と農地との間に緩衝地帯を作ったが、成果は。

**答** 地元では、非常に明るくなったとか、獣害も少なくなったと話されている。



▲給食センターの調理の様子

補助している。危険な箇所は除き自治会活動としてお願いしたい。

**教育費**

**問** スポーツクラブ21は、保健体育事業と連携を考えているのではないかと。今のところ、社会体育として二つを合わせることは難しい。

**答** 給食センターの食材を地元産で1700食確保することは難しいというが、今後どのように拡大を図るのか。

**問** 野菜の会を35から40代の方が加盟してやっている。耕作面積は少ないので、すべての野菜とはいれないが、キャベツや大根にもとりかかっている。また、農協が中心となりジャンボピーマンも広がっている。

**災害復旧費**

**問** 資料で把握されている箇所は、全て終わっているか。

**答** 全て終了している。

**公債費**

**問** 交付税算入率が46%というのは例年より低い。公債費9億円というのは算入率の低い起債だったのか。

**答** 一般会計では74.3%の算入率である。

**賛成討論**

石堂 基 議員

平成24年度一般会計決算においては、再生可能エネルギーへの取り組みとして大規模太陽光発電事業や佐用川千種川災害復旧工事委託費など重要かつ多額の支出を行いつつも、町の財政指標となる経常収支比率(対前年2ポイント)や将来負担比率(対前年8ポイント)、実質収支比率などを昨年度より更に向上させる優れた運用が行われているので、本認定に賛成する。

**反対討論**

平岡きぬえ 議員

本会計は、黒字決算で基金は平成25年3月31日現在93億9921万円。貯金額は町民一人当たり49万円、県平均12万8千円に比べ、飛びぬけて多い額だ。水害後特別交付税は、本年度までの4年間で災害がない場合の想定額より約27億円多く交付された。



▲上月地区の太陽光発電所

**賛成討論**

石堂 基 議員

平成24年度一般会計決算においては、再生可能エネルギーへの取り組みとして大規模太陽光発電事業や佐用川千種川災害復旧工事委託費など重要かつ多額の支出を行いつつも、町の財政指標となる経常収支比率(対前年2ポイント)や将来負担比率(対前年8ポイント)、実質収支比率などを昨年度より更に向上させる優れた運用が行われているので、本認定に賛成する。

**反対討論**

平岡きぬえ 議員

本会計は、黒字決算で基金は平成25年3月31日現在93億9921万円。貯金額は町民一人当たり49万円、県平均12万8千円に比べ、飛びぬけて多い額だ。水害後特別交付税は、本年度までの4年間で災害がない場合の想定額より約27億円多く交付された。

町は、基金積み立て優先でなく町民生活の復興・地域活性化のために有効に使うべきで、過疎化に拍車をかけた。

# 特別会計

## 国民健康保険

**問** 滞納繰越、不納欠損は何%入り、その見通しはどうなっているか。

**答** 徴収率は14・04%、不納欠損は339万円余りで、今後も納税者と個別に折衝し、徴収努力をしていく。

**問** 保険給付費の13億円は過大見積だったのか。

**答** 過去5年間の資料をもとに算定した。

減るような要因はあったのか。

**答** 医療費分析はしにくい。1、2年後連合会からのデータをもとに進めている。

**問** 特定健診で、以前は送迎バスが出ていた。検査率を上げるために送迎バスを出せないか。

**答** 自分の健康は自分で守る。近隣の方と乗り合わずなどお願いしたい。今は送迎バスを出せない。

### 反対討論

銅島裕文 議員



▲健診の様子

国保税を世帯当たり平均で前年度より15%も引き上げた決算である。当初予算で私は、生活が厳しい国保加入者への負担強化はやめるべしと指摘した。しかし、当局は一般会計から1億円を繰

り入れても引き上げないと運営できないとして、強行した結果は、国保税の引き上げによる収入増で一般会計からの繰り入れを6千万円も減額した。当局の責任は重大である。

### 賛成多数で原案認定

### 後期高齢者医療

**問** 24年度後期高齢者広域連合で保険料が定められて、22、23年度は7万717円から7万5027円に、上昇幅は4310円になった。本町の一人当たりの保険料と、平均はどのくらいか。

**答** 23年度の調定が4万1945円、24年が4万6630円。上昇幅は、4685円となっている。

### 反対討論

金谷英志 議員

広域連合議会で町長は、「保険料の引き下げ、県独自の減免制度の創設、医療費の一部負担無料化」などを求めた請願に反対し、加入者の負担軽減に

背を向けた。

また、24年度は保険料が6・09%引き上げられた。年金は削減されるなか、制度発足以来保険料は引き上げられており、更なる引き上げは高齢者にとって死活問題であることを指摘して反対する。

### 賛成多数で原案認定

### 介護保険

**問** 24年度に税率が上がったと思うが詳しい説明を。

**答** 根拠的には5100円で、上昇分に関連して普通徴収の滞納が大幅に増えた。

税率は、負担と給付の公平という観点から3年間の高齢者計画の中で設定された。

### 反対討論

笹田鈴香 議員

平成23年度の介護保険額3600円を第5期計画として5100円と42%もの大幅引き上げを行った。この負担強化に多くの町民から厳しい声が寄

せられている。財政安定化基金、6000万円の償還は2000万円ずつに分割して償還せよと指摘したが聞き入れなかった。結果、当初予算4227万3000円が2000万円の減額となり3000万円の基金を積み立てている。問題ある決

算だ。

### 賛成多数で原案認定

### 朝霧園

**問** 短期宿泊事業にともなう食事代が減額となっている。実態はどうなっているのか。

**答** 災害以降、21、22年は家庭の事情で多かった。

### 賛成多数で原案認定

### 入所対象になる

**問** 入所対象になるのは高齢者であるが、基本的なところで説明してほしい。

**答** 対象者は、基本的には65歳以上で、自分で生活で

きる方。歩行もでき自分でトイレも行ける方、風呂にも入れる方を対象としている。

**問** 介護認定の対象者は入所の対象者でないのか。

**答** 65歳前後で、要介護度が3、4であれば基本的には特養、またはヘルプ、ショート等の利用の介護者となり、入所判定委員会で判定し不可なら介護サービスの利用をしていたら、



▲朝霧園



▲佐用浄化センター

**簡易水道事業**

**問** 使用料が対前年540万円の増になっている点と、使用料金はどの程度の有収水量になっているのか。

**答** また、河川改修で井戸水が利用できなくなっているところがあるが、水道料金を減額したようなことはあったか。

**答** 水道料金の増額は自然増。簡易水道の有収水量はやっていない。河川改修に関する減額措置はない。枯れ井戸は県の補償の中で対応している。  
**全員賛成で原案認定**

**特定環境保全公共下水道**

**問** 公共下水道事業実施設計委託料818万円は統合計画の委託料か。また、どのような入札を行ったのか。

**答** 認可申請のための委託料で、公共下水道事業団にお願いしている。17の下水道施設、農集、コミプラ、公共下水道、これを6つの処理区に統合したい。  
**全員賛成で原案認定**

**西はりま文台公園**

**問** ロッジの年間稼働状況は。

**答** グループ用ロッジの使用人数は、昨年度8853人。営業日数は285日で1日平均31人。家族用ロッジは、4408人で、営業日数は327日、1日平均13人となっている。  
**全員賛成で原案認定**



▲笹ヶ丘荘

**笹ヶ丘荘**

**問** 佐用町民は、風呂を無料にし、食事等で売り上げを伸ばしたほうがいいのではないか。

**答** 宿泊は350人ほど伸びている。食事は1000人ほど減っている。入浴関係は増えている。割引等は今のところ考えていない。  
**全員賛成で原案認定**

**歯科保健**

**問** 在宅寝たきり老人の訪問は何回行ったか。

**答** 16回。  
**全員賛成で原案認定**

**石井財産区**

**問** 特別会計でなく一般会計に戻すとか、町が特別会計を持つ必要がないように思う。

**答** 今は事業を行っていないので予算上は動いていないが、過去には木の伐採とかで収入があり、そういう時には必要になってくる。  
**全員賛成で原案認定**

**農業共済事業**

**問** 決算の報告書様式が変わった意味は何か。

**答** 県から示された所定の様式による。

**問** 猪にやられ、被害調査に来る前に早く刈らないと被害が大きくなると言っただけで、調査に来ると思うが、調査に来るのが遅いのでは。

**答** 基本的に刈り取る前に連絡くださいとお願いしている。調査前に刈り取られると保険対象にならない。  
**全員賛成で原案認定**

**水道事業**

**問** 有収率が81.2%について、監査委員の審査意見にも有収率の改善を求めるとある。その原因が簡易水道への給水であるなら、会計が独立している以上、その分を考慮した決算にすべきでないか。

**答** 21年災害で水道水源の佐用、真盛、久崎、大酒が相当の被害を受けた。これから河川改修で河床

が下がれば取水の改善も必要であり、あと2年間は簡易水道との水のやり取りが続く。今後、簡易水道会計も企業会計にするので一本化に向け検討していく。

**生活排水処理事業、宅地造成事業**

質疑はなく、原案のとおり認定された。

**決算監査報告**

代表監査委員 榎本忠美

一般会計及び12特別会計は8月2日・5日・6日・7日の4日間、また、農業共済事業と水道事業会計は6月26日に審査した。

審査の結果、各会計歳入歳出決算書及び事項別明細書、実質収支による調書、財産による調書は、いずれも法令に規定された様式により作成されており、記載金額等は歳入簿、歳出簿、証書類、財産台帳等と符合し、計数的に正確であると認められた。

本町は、21年台風9号による災害も復興に向け整備が進んでいる。しかし、依然として過疎化の波は減速することなく厳しい状況が続いている。このような中、将来を見据えた適切な財政運営に取り組んでいることは評価したい。

# 町政を問う

## 9名が町政をたどしました

※一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問者	頁	質問事項
鍋島裕文	9	172億円もの新下水道事業は問題 ほか2件
井上洋文	10	健康寿命をどう延ばすか ほか3件
大下吉三郎	10	佐用の美しい自然を守ろう 木質バイオマスへの活用を ほか1件
笹田鈴香	11	隅々まで行き届いた行政を ほか2件
岡本義次	11	休耕田畑の維持管理について ほか2件
石堂基	12	森林資源を活用する新産業化構想について
金谷英志	12	町基本計画で掲げる産業活性化をどう図るか
平岡きぬゑ	13	学校統廃合問題は町の将来を決める重要課題 ほか2件
矢内作夫	13	交付税一本算定に向けての考え方は ほか1件

※掲載の順番は、毎回くじ引きで決定しています。

町長 172億円については、私の議会説明が不十分で誤解を招いた。申し訳ないと思っている。20年間の建設費は、施設を統合するための接続管工事など14億3千2百万円ほどだ。残りは50年間

町長は議会に、「今後20年間で下水処理施設を統合する。その事業費は172億円で、その節減効果は年間4000万円だ」と報告した。これでは、多額の事業費の元を取るには、430年も要することとなり、とてもない計画といわざるを得ない。



鍋島 裕文

Q 20年間で172億円もの新下水道事業は問題だ  
A 私の議会説明で誤解を招いた。申し訳ない

分の機器更新を含めた維持管理費だ。

問 施設の統合で接続管が合併浄化槽集落を通る計画だ。住民要望があれば、集合区域に変更すべき。国に認可申請する前に議会や町民に公開し、計画内容を充実せよ。

町長 今回は合併浄化槽区域の変更はない。審議会からは地元同意を取るよう指摘されている。

Q ペット禁止の法律なし  
A 民間向け通達がある

問 町は、町営住宅でのペット禁止は決まっているというが、法律や条例ではそれ自体を禁止していない。

町長 確かに禁止した法律はない。国交省が出した通達で禁止されている。町営住宅入居者は、入居時にペットを飼わない誓約書を出している。

問 ペット飼育が他の入居者に糞尿や泣き声などの迷惑を与えるのは事実だ。しかし、11月末までに処分しないと一律に入居を取り消すのは問題。旧町からの入居者は誓約書を書いていない。

町長 誓約書がなければ、分けて考える。



▲5年後統合予定の佐用浄化センター

Q 健康寿命をどう延ばすか

A 県と連携を取りながら進めていく



井上 洋文

**問** 日本は平均寿命が世界トップレベルの長寿大国になったが、高齢期を元気に暮らす健康寿命と10歳以上の差がある。厚生労働省は、本年より10年間を新たな目標として、健康寿命を延ばす取り組みを打ち出した。

今後、健康寿命をどう延ばしていくのか。

**町長** 今回作成された国・県の実施計画と町の計画を項目ごとに、連携をとりながら進めていく。

**胃がん対策にピロリ菌検査助成を**

**問** ピロリ菌検査の方法は、採血による検査方法や吸気検査であり、胃が

んそのものを検診するものではなく、胃がんになりやすいかどうかを診断するもの。検診時のピロリ菌検査の導入と検査費用の助成を。

**町長** 厚生労働省の見解を踏まえ関係機関と協議し、慎重に判断する。

**学校に於けるがん教育の推進は**

**問** がんに関する正しい知識を得ることが、がん医療を受ける上で基本といわれている。子どもの頃にがんの正しい知識、認識を得ることは、将来のある子どものためでもある。また、子どもたちの親は、がんが発病しやすい年代になるため、家庭でがんについての会話ができれば、検診率のアップにつながる。

日本対がん協会が作成

したDVD「がんちゃんの冒険」を教材に取り入れては。

**教育長** 各学校には、資料選択の一つとして情報提供していく。

**耕作放棄地の再生について**

**問** 農林水産省の耕作放棄地再生利用緊急対策事業の取り組みは。

**町長** 維持管理問題の解決につながる施策が含まれていないため、支援要望がない。



▲各地で増える耕作放棄地

Q 佐用の自然を守ろう

(木質バイオマスの活用)

A 森林組合と連携し進める



大下 吉三郎

**問** 株式会社日本海水が、赤穂で木質バイオマス発電設備事業を進めている。佐用町内には多くのバイオマス資源があり、林業木材産業振興に大きく貢献できると考える。そこで町長に問う。

町内には雑木林が多く、伐採しないと山が再生できなくなる。人工林も伐採時期を過ぎた木が多く、建築用材にならないものはバイオマスとして利用できないか。

**町長** 本町は地理的にも有利で、燃料活用など森林資源の新たな需要に期待している。今後、兵庫県森林組合連合会を窓口

に、県、町、森林組合と連携し事業の具体的な推進に努めていきたい。

**問** 自然林の施業伐採には補助金がないため、今後考えていく必要がある。

**町長** 木材を売却するためには林道、作業道が必要だがその現状は。

**町長** 林道、作業道の総延長は3万7606mとなる。

**問** 森林経営計画はどのようになっているか。

**町長** 計画地を拡大するため、行政職員も協働して業務に当たり、組合職員の負担軽減を図る。

**問** 町長の森林組合長兼務は現状でよいのか。

**町長** 当面は兼

務でいく。

Q もっと元気に・故郷再生を

A 森林計画の策定に取り組む

**問** 佐用町内の北部には和紙の原料、ミツマタの木が群生している。なぜか猪・鹿は食材としない。ミツマタを特産品として地域づくりができないか。

**町長** 和紙の原料生産はコストの関係で難しいと考えているが、森林資源の活用に向け、森林計画の策定に取り組む。



▲新たな森林資源の活用に期待がかかる

Q 学校統廃合・跡地問題など

これでいいのか今の進め方

A 跡地利用こそ地域で考えること



笹田 鈴香

**問** 全員協議会で江川小と佐用小、中安小と徳久小が26年4月に統合が決まったと報告があつたが、「統合が決まったらしいが町民の知らない間に決まってしまうのか」、「保護者からは最終的に意見を聞いてくれない」など不満の声を聞く。教育委員会の報告（多かつたので佐用小に決まった）にあつた校名の決め方にも問題がある。子ども中心に考えなくてはいけないが、地域にある学校として子どものことだけで決めるのは住民合意とはいえない。「しょうがない・・・」

というところまで追い込んで、納得しているとは思えない。

江川での行政懇談会で「跡地利用について詳しい説明を」の意見に、はっきり答えなかつたがなぜか。

**町長** 跡地利用こそ地域で考えることである。見解の違いだ。

**住民サービスの低下をさせるな**

**問** 4年前の台風9号災害では20人もの尊い命が失われた。住民が安心して暮らせるために「命を守る」行政の責任者としての見解を問う。

合併しても住民サービスは低下させないということ



▲石井体育館

Q 休耕田の維持管理は

A 漢方薬の栽培も研究



岡本 義次

**問** 最近、町内においても多くの休耕田畑が増えている。子どもが街で就職し、自分も歳がいつて田畑をつくつたり、草刈もできなくなり、放置すれば川原や山のようなになる。森林組合のような扱いで、里山を守るといふことで県民緑税を活用できないか。

**町長** 生産活動を伴わないもので、山を守る県民緑税は該当しない。

**問** 放置すれば害虫が発生したり、不法投棄される。これらの土地を守るために農林振興課としてどうするのか。

**農林振興課長** 地域を守る

る国の助成として、農地・水・環境保全戸別補償1反1万5000円や、棚田農地急傾斜地等の事業があり、昨年、3億円余りを使った。

**問** 米・野菜を楽天市場のように、インターネットによる販売や、製薬会社と組み、生薬、漢方薬の栽培を推進してほしい。

**農林振興課長** 先日も近畿農政局から漢方薬を作つたらとの話があつた。これからよく研究していく。

**問** 中国でも漢方薬が不足し引つ張りだこで、製薬会社も不足では非研究し広めてもらいたい。

**合併10年後の財政は**

**問** 合併し、後2年で10年になる。特例措置がなくなり交付税が5年で15億円減ると言われている。金額も大きく、今までで

きていたサービスもできなくなると思う。企業や若者も少なく、税収の伸びも期待できず、今後の町民サービス、行財政計画はどのようになるのか。

**町長** 合併時418人だった職員は現在286人で132人削減した。

また、3年で20億6千万円の債務を繰り上げ償還した。今後も、定員適正化計画を進め、職員削減による人件費の縮小と、不要資産の売却、太陽光発電等で財政を強化し、今までのサービスを維持していきたい。



▲荒廃した田畑

Q 佐用の森林資源を活かした産業が生まれるチャンス！

A 森林資源活用化計画で考える



石堂 基

問 これまでの議論を集約し、本町の森林資源活用について、別表のとおり木質バイオマス利用を中心とした提案をしたい

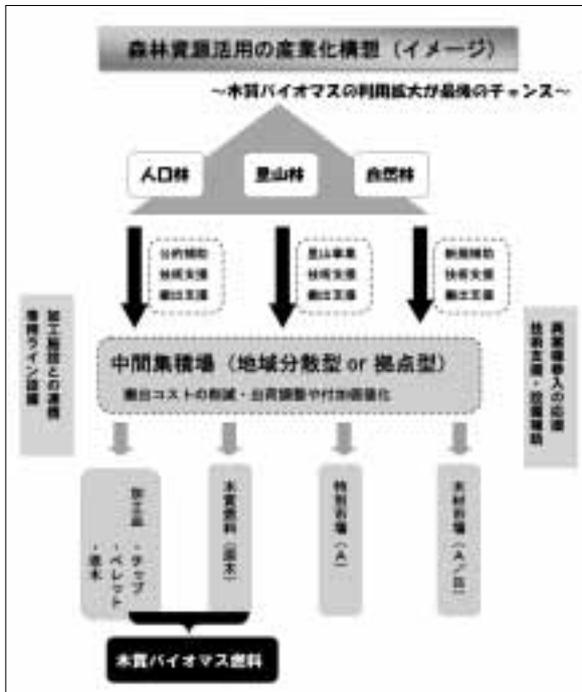
問 木質バイオマスを燃料とする発電所は、日本海水をはじめ県内に3基、近隣の府県を含めると相当の規模で計画が進めら

れているので、木材の需要は明らかに増えてくる。この機会をのがしては、森林の活用は考えられない。特に地域や耕作地に近接した自然林整備は、防災や獣害の面からも大きな効果が期待できる。

え方は同じで、特に重要なポイントは、自然林の流通を促すことと中間集積場の利活用と考えている。

町長 具体的には、現在進めている森林資源活用化計画で示すことになるが、地域に就業や継続可能な経済効果を生み出せるような産業化への取り組みを積極的に考えていきたい。

町長 町においても本年度から検討を進め、さらには森林資源活用化計画を立てるため本格的な調査に取り組みはじめた。基本的な考



Q 産業活性化計画の実施状況は

A 検証できていない



金谷 英志

問 町の後期基本計画(平成24年度から28年度までの5カ年)では、第7節で『産業の活性化、働く場の創出』を掲げている。

問 商工業の振興では、人材育成や独自商品開発の支援を行うと

町長 地域だけで消費できる量が確保できれば製材ができるが、佐用町だけで物事が考えられる状態ではない。

トしているが、その他にも何年も何も作らず保全管理している土地も多くある。問題は、耕作者の高齢化と人材不足である。一部であるが企業との連携で農地の活性化を図っている。

町長 長野県根羽(ねば)村森林組合は、伐採から製材、住宅向け製材品の販売までを一貫して手がける「トータル林業」といわれる仕組みを構築し、林業が地域内循環している。参考になるのではないかと。

町長 これまで私は、他の先進自治体である小樽市のスパー公務員といわれた木村氏の活動や、徳島県上勝町の葉っぱビジネス、愛媛県内子町の農産物直売所の取り組みなどを研究・参考にしよう求めてきた。「計画」にある耕作放棄地の活用施策の実施状況と検証はどうか。

町長 町内の耕作放棄地の面積は約45haとカウンの



▲徳島県・上勝町葉っぱビジネスを視察

Q 学校・保育園統廃合問題

住民アンケートの結果をどう受け止めるのか

A 住民合意を優先すべきだと思う



平岡きぬゑ

**教育長** 三河校区の住民

アンケート結果は、90%の回収率で6割以上が統合反対であった。代表者から「情報は適宜知らせてほしい。また、3年から5年後を目途に改めてアンケートを実施する」と報告を聞いている。

**問** 三土中学校閉校後、佐用町立(三河)中の要望はどうなるのか。

**教育長** 宍粟・佐用両市町組合教育委員会で三土中は平成27年3月で閉校する方針が出されている。より小さな学校を新たに設置することは考えてい

少子化対策に学校給食費の無料化を

**問** 相生市での取り組みに学び佐用町でも実施を。また、年間費用はいくら必要か。

ない。

**小規模多機能型居宅介護事業所に運営支援を**

**問** 住み慣れた地域で、最後まで高齢者が自分らしい生活を送るための施設へ支援を求める。

**町長** 神戸市は独自の加算制度をつくっているが、介護給付費が増えることになる。6期計画で適用するかどうか慎重に検討したい。

健康福祉課長

2カ月に一回担当職員が参加した運営協議会をしている。町単独では難しい。



▲学校給食配送車

Q 交付税一本算定に向けての考え方は

A 行政改革により財政基盤の安定を図る



矢内 作夫

**問** 平成17年の合併から8年が経過し、交付税の合併特例期間、いわゆる“アメ”の部分があると2年で終了する。

旧4町分で算定されていた交付税は、平成28年から段階的に縮減され、平成33年から一本算定となる。現在と比較して約15億円余りが削減され、この5年間だけでも削減額は40億円を超えることになる。

この対応について町長の基本的な考えを問う。  
**町長** 行政改革の推進については、集中改革プログラムに基づき行ってき

た。主に、定員適正化計画に基づき人件費で6億5000万円の削減、債務では繰上償還や新規地方債の発行抑制などで71億円の債務が減少した。経常収支比率の改善については、職員給与に係る各手当の廃止・見直し、委託料等の節減等で、合併時97.7%が平成24年度は80.7%に改善した。今後も、財政基盤の安定につなげる。

なお、国では、合併により佐用町のように面積が拡大し過疎地が中心となる小規模自治体には、自治を強化するための交付税の上乗せが検討されている。

河川改修後の堤外水路対策は

**問** 今回の河川改修では、

多くの井堰の水路が堤外に設置され、少しの雨による増水でも土砂が流入する。農家戸数は減少し、高齢化している中、その対応に苦慮している。農家のやる気が削がれないよう対応をお願いできないか。

**町長** 十分に認識している。豪雨の度に行う土砂除去は町、地元にも大きな負担がかかる。県へも土砂流入防止策、土砂除去の要請を行う。

また、町においても災害対応や要綱に基づく補助金の交付を行う。



▲役場窓口

# 常任委員会報告

## 9月定例議会付託案件 委員会所管事務調査

### 議会運営委員会

委員長 敏森正勝

千葉大学・植物工場視察  
7月25・26日全議員により、行政視察及び地方交付税の国会議員要望を行いました。

1日目は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（農林水産省植物工場千葉大学拠点）で、完全人工光型によるレタス低コスト生産施設と太陽光を利用したトマトの高収量生産施設を見学し、実証段階における有用性についての説明を受けま



▲完全人工光型によるレタス栽培

した。植物工場は、気象・病虫害等の被害リスクを最小限に抑えて、植物の最適な生育環境が維持でき、青果物の質的・量的安定供給が可能なことから、新たな産業として関心が高まっています。佐用町においても、農地の荒廃、農林業の縮小、学校統廃合による施設の活用など課題を抱えており、植物工場など新たな活性化対策として引き



▲太陽光を利用したトマト栽培

続き調査研究を行っていきます。

### 地方交付税制度国会要望

2日目は、地元選出国會議員4人を訪問し、合併特例期間が終了し平成28年度から段階的に縮減する地方交付税について算定方法の見直しと、地方交付税別枠加算の存続について要望書を提示し、合併市町村特有の財政事情に配慮した小規模自治体への支援を要望しまし

た。

また、国土交通省では、増田優一審議官に21年台風9号災害復旧事業のお礼と早期完了をお願いしました。



▲国土交通省審議官室

の市町村議会のあり方と「自治制度」と題して、山梨学院大学大学院社会科学部研究科長であり中央大学名誉教授の今村都南雄氏の講演でした。講演は、①改めて問われる自治体議会のあり方、②分権改革のもとでの地方議会改革、③問われる二元代表制のあり方、④議員定数と議員報酬の焦点化の四つの章だてで行われました。

（国会議員要望先）

山口 壯 衆議院議員  
鴻池祥肇 参議院議員  
末松信介 参議院議員  
水岡俊一 参議院議員

### 兵庫県町議会議長会主催 の議員研究会に参加

10月1日、上郡町の生涯学習支援センターで県下12町議会の全議員研究会が開かれました。

この研究会は毎年1回開催され、今回は「今後



▶県下議員研究会・上郡町

## 総務常任委員会

委員長 石黒永剛

### 学校視察実施

9月4日、佐用小学校大規模改造工事の進捗状況を視察しました。

当校は、築30年を経て経年劣化が激しかったため、夏休みを中心に大規模な改修を行ったもので、和式トイレを全面洋式トイレに、全教室の床板の張りなおし、屋根の防水工事、エレベーターの新設等、総工費は1億7900万円余です。

また、当委員会は7月16日に、中安、徳久、三河小学校を視察し施設の管理状況を調査しました。



▲改修の進む佐用小学校

## 厚生常任委員会

委員長 山田弘治

### 付託案件審査

#### 子ども・子育て会議条例の制定

##### 制定目的

子ども、子育て支援法に規定する事務を処理し、調査審議するための機関を設置する必要があるため。

##### 問 条例案第3条に規定する組織委員は15名以内となつていますが、具体的な考えはあるのか。

答 第3条の子ども・子育て支援会議は15名以内で提案しているが、近隣の市・町、関係機関の動向も判断し、一般公募も含めて検討します。

問 佐用町にある子育て計画、次世代支援行動計画について説明を願いたい。

答 子ども、子育て支援法に定める計画書はほぼ同じ計画書になるので、従来からある計画書を含

めて、27年度以降はそれらを取り入れる形で児童課長の了解を得ている。

問 全国の中には、会議を置かない所があるがどう理解したらいいのか。

答 町が設置する支援会議に強制権はなく、努めなさいということになつている。

##### 全員賛成で原案可決

#### 小規模多機能型居宅介護事業所の現地調査

7月19日、南光地域の小規模多機能型居宅介護事業所の現地調査を実施しました。

訪問した小規模多機能型居宅介護事業所「ほほえみ」（米田）の定員は25人で、現状は「通いサービス」15人、「宿泊サービス」9人。いずれも利用するには事前登録が必要です。

宿泊サービス等を希望する方のために、タタミ部屋2室、夫婦部屋2室（仕切りあり）、個室が5

室の合計9室で対応されています。

食堂兼ホールでは、「通い」、「宿泊」の方々が楽しく過ごされている光景も見ることができました。

施設との意見交換では、運営に対する支援要望が出されました。また、経済的に苦しい方については、食事代、おやつ代等について減免措置を講じているとのことでした。

家庭で介護者の世話をされている方にとって、一時的に預かってもらえる施設が地域内にあることは、心強い支えになるとの認識で視察を終えました。



▲小規模多機能型居宅介護事業所

## 組合議会報告

三土中学校事務組合  
播磨高原広域事務組合  
にしはりま環境事務組合  
西はりま消防組合

### 三土中学校事務組合

組合議員 井上 洋文

#### 定例議会開催

10月9日、三土中学校において佐用町・宍粟市組合立三土中学校事務組合議会が開催され、平成24年度歳入歳出決算の認定が行われました。

#### 24年度決算認定

平成24年度決算額は、歳入総額3699万6692円、歳出総額3605万1722円で、差引実質収支額は94万4970円となり、平成23年度と比較して歳入決算額は103・80%、歳出決算額においても108・66%の増額です。

また、実質収支額の比

較は61・63%の減額でした。

#### 主な事業

施策として「こころ豊かで、たくましく生きる力を持った生徒の育成」を学校目標に掲げ取り組んできました。

主なものとして、「トライやる・ウィーク事業」では、職業体験を通して社会的自立精神を高めることができました。

また、外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成等を行いました。



## 播磨高原広域事務 組合議会

組合議員 矢内作夫  
大規模災害時の火葬施設  
運営を視察（福島県）

8月19日・20日、組合  
議会は福島県いわき市に  
て視察研修を行いました。  
目的は、大規模災害で  
多数の犠牲者が発生した  
場合の火葬場の使用や運  
営方法について研修を行

いました。

平時時、視察先の火葬  
場の受入可能件数は1日  
19件ですが、東日本大震  
災では、多くの遺体を早  
期に対応する必要が生じ  
様々な問題が起きました。  
特に、燃料の灯油が災害  
時は入手が非常に困難で  
あった。また、ご遺族か  
らの色々な意見等の対応  
が大変だったとのことだ  
す。



▲火葬施設運営について説明を受ける組合議員

佐用町も東  
に山崎断層を  
抱えており、  
震災時の対応  
として学べ  
きところが多  
くありました。  
2日目は、  
被災地の復興  
状況、また、  
直接津波によ  
り九死に一生  
を得られた方  
から、当時の  
生々しい体験  
を聞き、その  
後、復興の象



▲いわき市の斎場を視察

徴として多くのメディア  
で報道されていた共同の  
店舗を視察しました。

播磨高原広域事務組合と  
は たつの市（旧新宮町）、  
上郡町、佐用町で構成さ  
れ、火葬場、上下水道、  
小中学校、チューリップ  
園、サッカー場等を管理・  
運営する一部事務組合で  
す。組合議会は各市町議  
会より5名、計15人の議  
員で構成します。

## にしはりま環境 事務組合議会

組合議員 井上洋文

### 定例議会開催

8月28日、第23回定例  
議会が開催され、議長選  
挙を始め、監査委員、公  
平委員の選任同意、平成  
24年度一般会計歳入歳出  
決算の認定及び平成25年  
度一般会計歳入歳出補正  
予算が審議されいづれも  
原案のとおり可決されま  
した。

### 選挙・同意

議長 橋本正行議員（上

郡町議会議長）  
監査委員 岸本義明議員  
（宍粟市議会議長）  
公平委員 清水康廣氏、  
大山昌之氏、内山宗一氏

### 24年度決算認定

平成24年度決算額は、  
歳入52億4454万23  
85円、歳出52億439  
9万3371円で、歳入  
歳出差引額は54万901  
4円となり、翌年度へ繰  
り越すべき財源はないこ  
とから、実質収支は54万  
9014円の黒字でした。

### 25年度補正予算

歳入歳出それ  
ぞれ、478万  
2千円を増額し、  
歳入歳出予算の  
総額を歳入歳出  
それぞれ7億4  
227万7千円  
としました。

にしはりま環境事務組合  
とは  
姫路市、たつの市、宍  
粟市、上郡町、佐用町の  
3市2町で構成される一  
部事務組合で、佐用町三  
ツ尾地内に事務所があり  
ます。

### 事業内容

一般家庭や事業所から  
排出されるごみを受け入  
れて、燃えるごみの焼却  
や燃えないごみの処理、  
缶・ビン・ペットボトル・  
プラスチック製容器包装  
などの再資源化を行って  
います。



▲にしはりまクリーンセンター中央制御室

# 西はりま消防 組合議会

組合議員 山田弘治  
定例議会開催

10月2日、第3回西はりま消防組合議会が開かれ、2議案について審議しました。

## 議案第3号財産の取得

- 1、取得する財産  
救助工作車 1台
- 2、取得方法  
一般競争入札
- 3、取得金額  
8505万円
- 4、購入先  
大阪市淀川区野中北2丁目2番6号



▲西はりま消防組合佐用消防署朝礼風景

キンバイ商事株式会社  
代表取締役社長小川博

## 議案第4号一般会計補正 予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1126万2000円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、30億483万7000円とする。

### 歳出の主なもの

給与182万1000円の追加は、構成市町の太子消防署における4月1日の職員配置に基づき、不足する職員給与を計上するもの。

共済費786万4000円の追加は、太子消防署における給料の増額及び共済費の長期掛金率が上がったことによるもの。また、佐用消防署における地方公務員災害補償基金負担金、非常勤公務員公務災害掛け金を新たに計上するため。

負担金2673万円の追加は、日本道路公団と



▲西はりま消防組合佐用消防署指令室

ため、諸収入を減額し、各市町村の負担金として組合で歳入するものです。

### 2議案について

は全員賛成で承認されました。

## 高機能消防指令センターを視察(福岡県)

組合議会は、8月1・2日に行政視察を行いました。

視察先 1日目は福岡県春日・大野城・那珂川消防組合、2日目は筑紫野太宰府消防組合を視察。

### 視察内容

西はりま消防組合は、平成28年度に高機能消防指令センター総合整備事業Ⅱ型の導入を計画していることから、同Ⅱ型を運用する2消防本部でシステムの機能と運営状況について研修を受けました。

## 高機能消防指令管制システムについて

指令センター大型表示盤(46LCD×8面)  
(車両、支援情報、多目的情報表示)

46型液晶モニター8面、タッチパネル及び操作パネルによる各種映像切り替え表示が可能で、画面表示は単画面又は4画面拡大表示を行うことで指令管制業務や災害発生時の情報共有に威力を発揮します。

### 発信地表示システム

119番通報をした場所が瞬時に表示され、的確な出動指令を出すことができます。

固定電話はもちろん、携帯電話、IP電話からの119番も対応可能です。

### 自動出動装置

(発災地直近車両出動システム)

災害地座標と車両動態管理により、災害地に直近の適応消

防車、救急車が瞬時に選択され、出動指令を行うことができます。

### 地図等検索装置

(発災地、車両位置情報) 自動出動装置と連動するもので、119番通報地点を瞬時に地図上に表示するとともに、直近にいる消防車、救急車を表示し動態管理します。通報受付から、現場到着まで、迅速かつ的確な消防活動を支援し、住民の安心、安全を支えるシステムであると説明受けました。



▲春日・大野城・那珂川消防組合

# 今後の 議会の予定

11月

- 18日 厚生常任委員会  
行政視察
- 22日 総務常任委員会  
行政視察
- 29日 議会運営委員会

12月

- 6日 12月定例議会開会
- 9日 播磨高原広域事務組  
合管理者・議長会
- 10日 総務常任委員会
- 11日 厚生常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 16日 播磨高原広域事務組  
合定例会
- 17日 本会議2日
- 18日 一般質問  
(テレビ放映)
- 19日 一般質問  
(テレビ放映)
- 20日 一般質問  
(テレビ放映)
- 24日 12月定例議会閉会

## 議会の傍聴は気軽にできます

町民の皆さんの要望を反映した一般質問、町の事業などについての意見のやり取りをじかに聞いて町政に関心を持ってください。

佐用町議会では、本会議だけでなく、委員会も公開しています。傍聴の申し込みは議会事務局まで。

電話 82・0668(直通)

## 年賀状はご遠慮させていただきます

私たち議員は、公職選挙法により町民のみなさんに時候のあいさつを出すことは禁じられています。失礼いたしますがご了承くださいませようお願いします。

## 地域づくりセンター長 登場



江川地域づくりセンター長  
木村政照さん(69歳)

### 『おんみょうし 陰陽師の里・江川』を売り出す

江川地域づくり協議会は、新佐用町合併とともに、昭和57年以来24年の長きにわたり親しまれた公民館江川分館を改組し、江川地域づくり協議会として翌平成18年に設立し出発しました。

世帯数は416戸、人口1132人で高齢化率は38.9%です。播磨風土記にも出てくる江川は、歴史的資源として宮本武蔵が通ったとされる釜坂峠や末包の磨崖仏、平谷の古墳群、芦屋道満塚、安倍晴明塚などが点在しています。

地域づくり計画では、基本目標を六つの柱に分けています。①自然の魅力あふれる里、②安全で安心して暮らせる里、③みんなで支えあう健康と福祉の里、④快適で訪れて見たくなる里、⑤ふるさとへの誇りと豊かな心を育む里、⑥地域の特性を生かした活気ある里、の六つで、この柱の横軸に『陰陽師の里』を据え、色んな「仕掛け」をして地域住民の参画で里づくりを進めていきたいとのこと。

## 編集後記



町合併から8年が経ち町は、一つの節目を迎えました。合併するにあたっては、四町が一つになってスケールメリットを活かしたまちづくりをしようというものであります。

町では、総合計画の後期基本計画が24年度から5ヶ年計画で立てられています。計画は、福祉・健康や産業振興などそれぞれの章で町の現状と課題を分析し、その施策を掲げています。計画実施は、検証を素早くおこない社会情勢に応じた計画の見直しを求められます。

町議会では、議会調査改革特別委員会を設置し、本年度中の「議会基本条例」制定に向け議論を重ねているところです。「改革」した議会が町当局とともに、町振興計画を実効性のあるものにしていきたいと思いません。(金谷英志)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 山本 幹雄
- 副委員長 井上 洋文
- 委員 金谷 英志
- 大下吉三郎
- 石堂 基
- 笹田 鈴香